

## 卒業生は今……

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は約860名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

### No.17 Mくん・Sくん（平成26年3月卒・現19歳・16歳） 遠洋カツオ一本釣漁船

#### Q. 仕事の内容は？

- \* 漁場に向かっている時は航海当直に立ち、当直は学園卒(42期生)の先輩と一緒にいきます。色々教えてもらい勉強になります。
- \* 操業の時は、魚の食いの良い時は釣り込みをしますが、食いが鈍ると、S君は餌を運び、M君タモを持ち、釣れた魚を傷つけないよう船内に取り込む作業をしています。

#### Q. 大変なことは？

- \* 作業内容の説明を受けて、理解できていないのに返事をしてしまうので、いざ作業開始となると戸惑うことがあり、聞き直すことが多く注意をされる(M君)。
- \* 動きが遅いので早く動くように注意される。また、乗組員の大半が他県のため方言を理解するのに戸惑うことが多い(S君)。
- \* 甲板作業では、ブライン凍結が終了した魚を別の魚艙に移すシフト作業が、朝早くから始まるのが辛い。全ての仕事に対して大変です。

#### Q. 良いこと、楽しいことは？

- \* 魚を釣っている時が一番楽しい。また、乗組員の大半がインドネシアとキリバスの外国人で船内生活は外人とのコミュニケーションが上手くとれているので楽しい。
- \* インドネシア人は大型カツオ船に、乗船するまで三年ほど下積みがあり、仕事も出来るので色々教えてもらっている。
- \* 昼食に出る、刺身がとても美味しい。

#### Q. 学園在学中の思い出は？

- \* もう少し勉強と実習を覚えておけば良かった。少し後悔している。

#### Q. 学園で学んだ(身に付けた)ことで、現場で役立っていることは？

- \* ロープワークで、特に防舷物の結び方、疑似餌(チャン)の作り方、ナイロンの結び方。



両端が42期生

#### ☆. 在校生へのアドバイス

- \* 体力が絶対に必要である。重たい物を長時間持ち続ける体力は特に必要です。

(平成26年7月1日)